

令和元年度悠久会神奈川支部総会報告：若き学生の講演と新たな女性会員の参加

上原 知幸（電気電子 H18、神奈川支部常任幹事）

令和元年 10 月 19 日横浜崎陽軒本店で神奈川支部総会が開催されました。今回は来賓 9 名、支部員 26 名の参加者 35 名であり、飛び入りの参加者や女性の参加者が増えて活気のある会となりました。また、新たな役員として、遠藤亜矢子 常任幹事（応化 H4）を迎えることもできました。

藤原副支部長の司会・開会宣言で始まり、相馬友一支部長より昨年度の活動と今年度の計画が報告され、承認されました。その後、支部活動報告、工学部の林豊彦 教授の熱い思いを込めた母校の近況報告と続き、機械システム工学科 3 年生の草野曜圭様に「ロボコンプロジェクト活動報告」と題してご講演いただきました。ご講演は、ロボコン大会に至るまでの道のり、ロボット設計などの大変興味深いものでした。エンジニアの多い悠久会会員とあって、質問がとまらない盛況ぶりでした。その後、新しい企画として後藤一敏様（応化 S39）の著書「生きるとは何か」について自身の人生を含めて紹介していただきました。人生という道のりを再考する良い機会となりました。

記念撮影の後、第二部の懇親会は臺蔵副支部長の司会により、池田守正顧問（精密 S31）の乾杯で始まり、小泉靖香様のフルート演奏が行われました。親しみある曲をフルートで奏でいただき、音色に酔いしれながら時が過ぎ池田邦彦顧問（電気 S 3 3）による中締めとなりました。二次会では、各々近況報告を行い、会員相互の親睦が深まりました。近隣支部・会等からお越しいただきご挨拶をいただいた方々、ありがとうございました。

